

# I 深度別面積

## 1. 算出方法

建設省国土地理院発行の1/10000琵琶湖湖沼図「1959（昭和34）～1962（昭和37年）測量、1980年（昭和55年）部分修正」を基に、埋め立て、干拓等の変更水域を補正し、プランメーター（牛方商会製、オーバックL）により、深度0～1m、1～2m、2～3m、3～4m、4～5m、5～7mの面積を算出した。なお各調査基点の面積は隣り合う基点の間までとした。

## 2. 算出結果

このようにして得られた琵琶湖沿岸部の基点別・深度別面積は付表3に示した。表1に地区別の深度別面積をとりまとめた。

表1 地区別、深度別面積（㎡）

地区	深度 0～1m	1～2m	2～3m	3～4m	4～5m	5～7m	合計
湖東部	2,110,000	5,467,000	4,189,400	6,079,000	7,415,000	14,320,600	39,581,000
湖西部	679,600	2,443,600	2,305,600	1,249,600	1,091,600	2,116,200	9,886,200
湖南部	775,000	3,843,000	6,344,000	12,388,000	23,156,000	5,530,200	52,036,200
湖北部	571,200	1,167,200	1,207,200	867,200	1,175,200	3,127,400	8,115,400
計	4,135,800	12,920,800	14,046,200	20,583,800	32,837,800	25,094,400	109,618,800

前回調査時（1969年）の沿岸帯（深度0～7m）の総面積は114.7km<sup>2</sup>であり、今回は109.6km<sup>2</sup>と約5km<sup>2</sup>少ない結果となった。

1969年に比べ、図1のとおり湖南部（南湖）の深度0～1mの沿岸帯面積の減少が目立った。

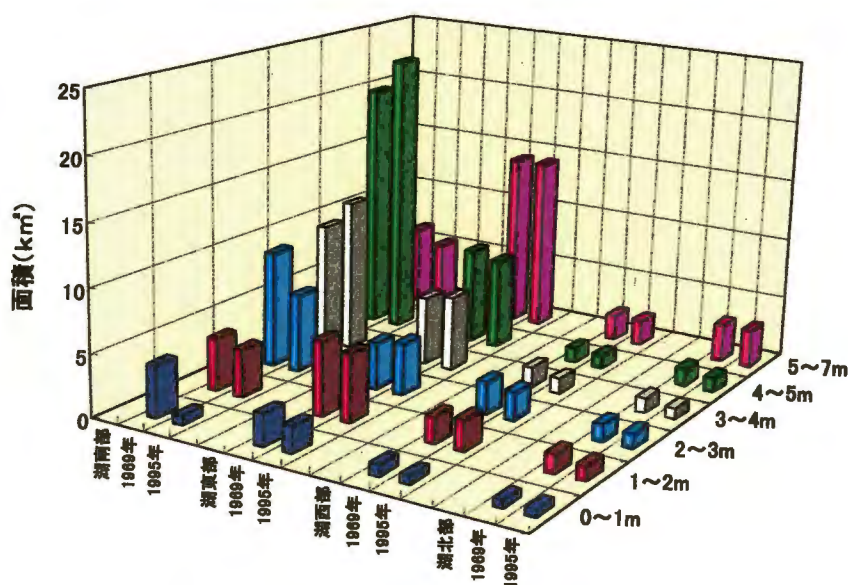


図1 地区別沿岸帯面積の変化